

海況情報【内湾湾口観測結果】

【観測結果（調査日：7月3、5、6日）】

7月3日に渥美外海、5日に伊勢湾北部、6日に伊勢湾南部と三河湾の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P3～A10）】

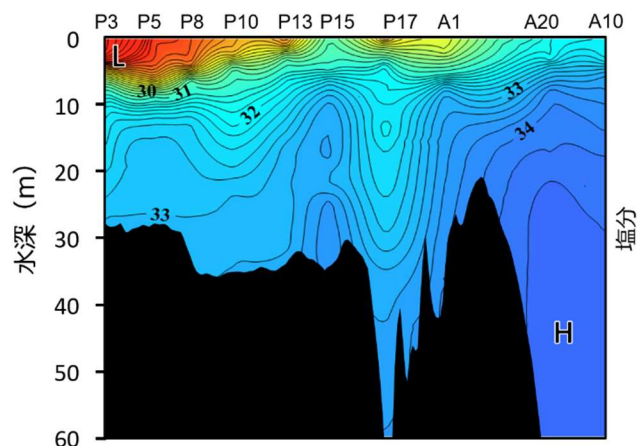
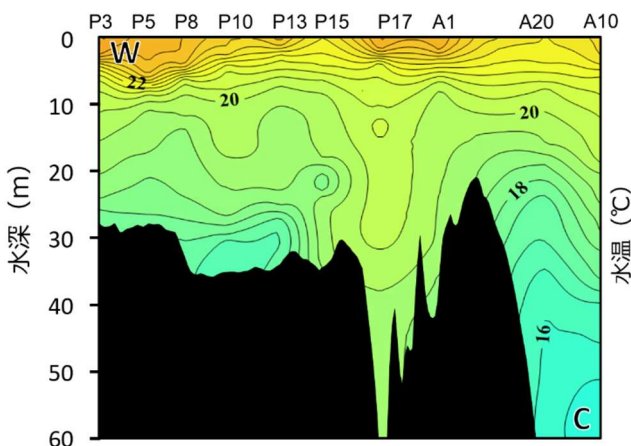
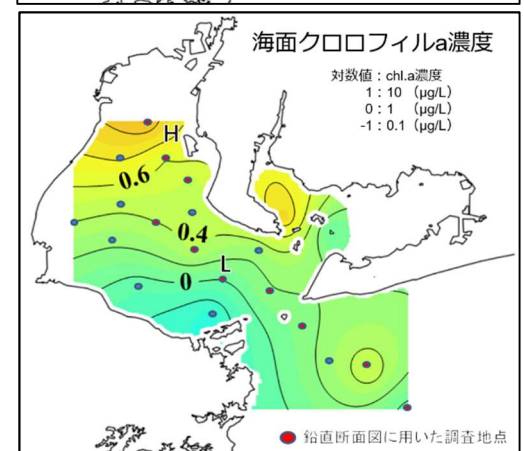
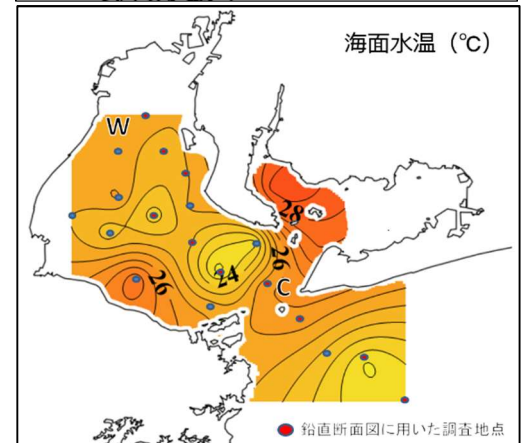
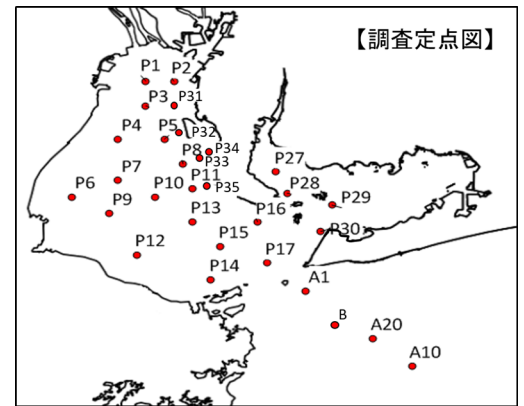
気温の上昇と日射の影響により、海域全体の海面水温が高くなっている一方で、伊勢湾南部と渥美外海の湾口付近の海面水温は比較的低くなっています。

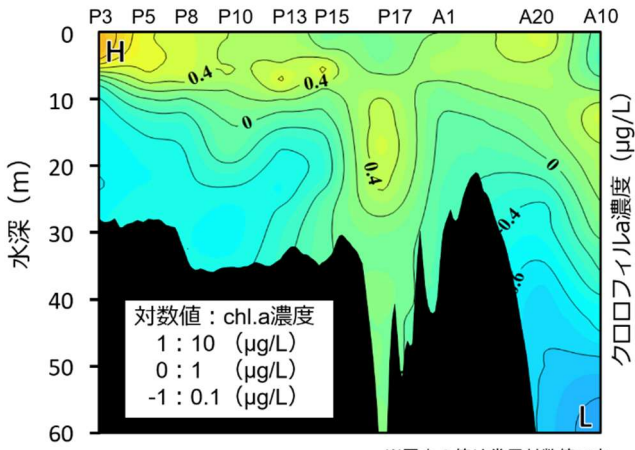
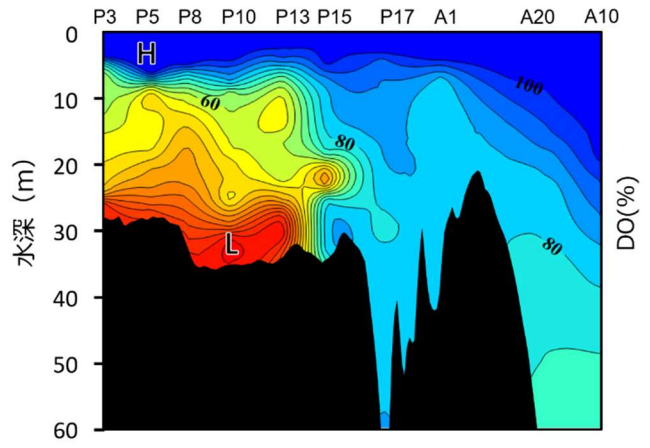
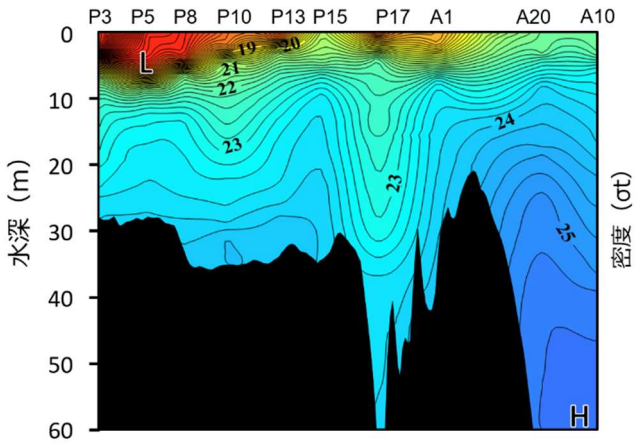
クロロフィル a 濃度は、陸域からの負荷が大きい湾奥部で高くなっています。加えて、渥美外海の湾口付近にも高濃度の海域がみられます。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

気温の上昇と日射、および降雨と河川水の流入によって、海域全体の表層は高水温・低塩分の軽い水塊に覆われています。その結果、成層が発達し、鉛直混合が妨げられています。さらに、湾奥～湾央部（P3～P15）の水深10mよりも深いところでは、外海水の進入がみられず、酸素供給が極めて少ないため、貧酸素水塊（溶存酸素濃度30%以下）が発達しています。

また、密度分布によると、渥美外海で湧昇が生じており、富栄養の底層水が表層付近に供給されるため、湧昇がみられる海域（A20）の表層ではクロロフィル a 濃度が高くなっています。また、湧昇した外海水が進入している湾央～湾口部（P13～P17）の亜表層から中層でもクロロフィル a 濃度が高くなっています。





※図中の値は常用対数値です